

# 平成30年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申 請 者	団体名	泉南市商工会	
	代表者職・氏名	会長 原田 六次郎	
	所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5	
	担 当 者	職・氏名	事務局長 城野 雅之
		連 絡 先	電話番号（直通）： 072-483-6365
F a x： 072-483-5321			
		E - m a i l： <a href="mailto:info@sennan-sci.or.jp">info@sennan-sci.or.jp</a>	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥につ いては直近の数字を記 載のこと		昭和47年7月10日  6名（5名）  大阪府泉南市  2,199事業所（平成26年経済センサス活動調査に基づく民営事業所数） 1,483事業所（平成26年経済センサス活動調査に基づく小規模事業者数） 1,152事業所（52.4%）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。 (15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

## 泉南市商工会

### (1) 事業の目標

地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していく。そのためにも、各種支援制度や助成金制度等の情報発信を行い、即座に対応が出来る体制を整える。

一方、地域活性化事業等の取り組みについては、前期の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき、通常の巡回訪問や窓口相談の際に、“事業者の抱える課題は何か”を常に意識して接することに努め、各事業所の役に立つ様々な情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方に訪問するように心掛ける。そして、前向きに取り組む事業所に対し実績が上がるような取り組みを心掛け、この方々がリーダーとなり、次世代の牽引者となっていただく仕組みを構築する。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業においては、各事業所のニーズを十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の資質向上に努め体制を整えた。特に、巡回訪問を重点的に実施し、経営環境の変化等にタイムリーに対応した。

専門相談支援事業については、特に景気の低迷による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。

地域活性化事業については、阪南市商工会・熊取町商工会・岬町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、効率的に効果の上がるように実施した。

また特に、ものづくり・商業・サービス革新補助金や持続化補助金等各種補助金については、情報提供を迅速に行い、専門家派遣を中心に各種支援を行なった。

### (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業においては、巡回による事業所訪問での実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供できた。また、多種に渡る諸問題に対応し、相談事業者に一步踏み込んだ相談を実施した事で、効果的な支援が出来たと思料する。

地域活性化事業については、商業関係で「第6回泉南マルシェ」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）をはじめ多くのイベントに地域事業者が参加し、売上増強を図るため、販路開拓や商品開発などに取り組んだ。

また、今年度泉南地域活性化の起爆剤として実施した「せんなんまちゼミ」は、やる気のある事業者が多数集まり、事業者同士の連携も生まれつつあり、今後に繋がる第一歩として成功した。

そして、工業関係では、「泉南異業種交流会」開催により、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取組みや企業間連携を促進した。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業を実施する中で、地域多くの事業者が高齢化し、事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業継承をスムーズに行えない事業所が数多く存在する事が伺える。一方、地域活性化事業を実施する中においては、前向きに取り組む事業者が増えているものの、販売イベントや展示会の参加申し込みは、まだまだ参加事業所が一部に限られている。今後は、参加者が地域全体に広く行き渡るよう、定期的・継続的なイベントや展示会を開催していく必要がある。

### (5) 来年度への取り組み

経営相談支援事業については、利用頻度の低い事業所への巡回訪問に重点を置き、各種の支援や助成制度などの情報を提供し、潜在的な問題点等を発掘し早期解決に向けた取り組みをして行く。また、専門的な支援を望む事業所には積極的に対応し、事業の持続的発展に資するよう、伴走型の指導・助言が継続的に出来る支援体制を整える。

地域活性化事業においては、今年度も、広域事業を数多く行ったことで新規参加者が増え、来年度もより多くの事業所が参加できるよう取り組んで行きたい。本年度は多くの事業所が積極的な姿勢で参加しており、競争心のようなものも芽生えてきた。来年度は、より充実したかつ効率的な形で事業を実施するため、引き続き広域連携で地域全体の活性化に取り組んで行く。

泉南市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

・現在、小規模事業者を取り巻く環境は非常に厳しく、多種多様の支援が求められている。そのような中、当商工会では、経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所訪問の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛けて活動を行った。また、事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。その結果、相談事業所に当方の気持ちが伝わり双方腰をすえて問題解決に取り組む支援体制が出来たように思われる。

・経営相談支援事業には、地域支援ネットワークの構築が必要であり、行政をはじめ各関係機関との連携、地域金融機関との連携から幅広い受け皿が必要である。特に、金融支援については、複合的な支援が必要であるため、可能な限り複数の支援メニューを使い支援することに努めた。また、高度専門化する相談内容に対応するためには、専門家の知識が必要である場合が多いため、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。

<代表事例カルテ>

造園・土木工事業を32年間、泉南市で経営されている。現社長に事業承継され6年目、数年後には息子に事業承継を考えている。事業は順調に推移しており労働保険事務組合にも加入され、従業員の労働環境にも高い意識を持たれている事業所。車両購入のため、今年度マル経融資を希望され、従業員の退職に伴う社会保険の任意継続の手続きについて支援した。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	215	213	99.1%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	30	34	113.3%	5
金融支援（紹介型）	支援数	5	3	60.0%	3
金融支援（経営指導型）	支援数	45	43	95.6%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	2	1	50.0%	3
記帳支援	事業所	30	62	206.7%	5
労務支援	支援数	45	41	91.1%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	1	1	100.0%	5
販路開拓支援	支援数	35	23	65.7%	4
事業計画作成支援	支援数	7	6	85.7%	5
創業支援	事業所	5	4	80.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	0	0.0%	0
コスト削減計画作成支援	事業所	2	15	750.0%	5
財務分析支援	事業所	25	33	132.0%	5
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	5	5	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	60	52	86.7%	5
結果報告	事業所	215	213	99.1%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門相談事業において、労務においては各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決を心掛けた。税務相談においては、事業主の高齢化に伴い事業承継（相続）に係る相談が多く、事業承継をスムーズに行うため税務面からの解決に役立った。法律相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをいただき、解決に向け前進させることが出来た。

平成26年度より開始した経営相談については、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。

税務相談	継続	相談件数	6	11	183.3%	5
法務相談	継続	相談件数	6	8	133.3%	5
労務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
経営相談	新規	相談件数	12	16	133.3%	5

泉南市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

・地域活性化の事業においては、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。

まず10月には「第6回泉南マルシェ」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催し、好天に恵まれ多くの来場者で賑い、泉州地域の事業者は売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組んだ。この「泉南マルシェ」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会と連携し、オール泉南の一大イベントとして、定着している。

また、泉南地域活性化の起爆剤として実施した「せんなんまちゼミ」は、今年度2年目となるが、やる気のある事業者が多数集まり、事業者同士の連携も生まれつつあり、早くも軌道に乗りつつある。

・今年度も「泉南異業種交流会」開催により、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進した。この「泉南異業種交流会」についても、りんくう地域全体に範囲を広げ、今後とも定着させていきたい。

また、平成31年4月から順次施行される「働き方改革関連法」の中で、特に女性活躍推進にスポットをあて事業を実施し、働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識改革を促す活動を行った。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	泉南異業種交流会(セミナー)	20	12	60.0%	89	今後の事業運営に役立った、または役立てたいという事業者の割合	70	91	130.0%	5
	泉南異業種交流会(先進視察)	10	15	150.0%	90	今後の事業運営に役立った、または役立てたいという事業者の割合	70	100	142.9%	5
	泉南異業種交流会(異業種交流会)	20	11	55.0%	85	新たな取り組みや企業間連携に取り組んだ、または取り組みたいという事業者の割合	60	81	135.0%	5
	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	27	29	107.4%	79	販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所の割合	70	75	107.1%	5

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	50	100.0%	82	新規顧客獲得・売上増加した事業所	30	35	116.7%	5
○	女性活躍推進支援	40	43	107.5%	78	今後の事業運営に役立った、または役立てたいという事業者の割合	70	88	125.7%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		泉南異業種交流会事業																										
想定する実施期間		25年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																										
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>経済産業省 工業統計(市区町村編)によると、2014年における泉南市の製造業の事業所数は前年比7.3%減の114事業所。3年連続の減少。2014年において最も事業数が多い業種は、繊維工業の45事業所。次いで多いのは金属製品製造業(11)となっている。こうした中、泉南市商工会では工業振興対策委員会を中心に平成26年に(地独)大阪産業技術研究所、27年にものづくり支援拠点MOBIOの見学視察会を開催した。次に平成27年に地元企業の株式会社ユメックスにて工場見学後に5Sの活動報告や女性経営者ならではの視点での経営事例を発表し交流会を実施した。最後に中小企業経営者向けの成功事例セミナーや補助金活用セミナーを実施することで大きな手応えを感じるとともに中小企業の課題解決に向け取り組んでいく所存である。</p> <p>泉南市においては、工業系事業者が交流や情報交換をする場が少なく、事業者同士の横のつながりを工業振興対策委員会が担っている以上、今年度においても商工会が地域の工業系事業者を中心とした交流会を開催し、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進するよう意見交換を実施しつながりを深めたいと考える。また、それと併せて経営セミナーや他地域の先進事業所や地元企業等の視察を開催することにより、単に交流するだけではなく、経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。</p>																										
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業を中心とした市内事業者。																										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①経営セミナー 日時：平成30年10月16日(火) 参加事業所数：12事業所参加 場所：泉南市商工会館2階会議室 表題：書き方ひとつで劇的にかわる！ハローワークの求人で『欲しい人材』求人票作成セミナー 講師：野間信行 氏(ハイト・ロッキ代表)</p> <p>②先進事業所視察 日時：平成30年11月13日(火) 参加事業所数：15事業所参加 視察：大阪ガス(株)ガス科学館(高石市)、明治なるほどファクトリー関西(貝塚市)</p> <p>③工場見学&amp;異業種交流会 日時：平成31年2月5日(火) 参加事業所数：11事業所参加 場所：(株)キャニオンスパイス</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。</td> </tr> </table>							①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。	④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。												
	①府施策連携																											
②広域連携																												
③市町村連携	泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。																											
④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。																											
事業の実績/目標	<table border="1"> <tr> <td>計画に対する実績(数値) ①経営セミナー</td> <td>支援企業数(計画)</td> <td>20社</td> <td>支援企業数(実績)</td> <td>12社</td> <td>支援実績率</td> <td>60.0%</td> <td>満足度</td> <td>89点</td> </tr> <tr> <td>計画に対する実績(数値) ②先進事業所視察</td> <td>支援企業数(計画)</td> <td>10社</td> <td>支援企業数(実績)</td> <td>15社</td> <td>支援実績率</td> <td>150.0%</td> <td>満足度</td> <td>90点</td> </tr> <tr> <td>計画に対する実績(数値) ③工場見学</td> <td>支援企業数(計画)</td> <td>20社</td> <td>支援企業数(実績)</td> <td>11社</td> <td>支援実績率</td> <td>55.0%</td> <td>満足度</td> <td>85点</td> </tr> </table> <p>※参加者のアンケートに結果を参考に記載する。</p> <p>①経営セミナー 大阪府内の商工会議所・商工会で数多くのセミナー経験を持つ野間先生を招聘し求人票セミナーを開催した。受講者は「求人票のノウハウがわかってありがたい」「求人票の記入方法が参考になった」「具体的な記入例がわかりやすかった」など求人課題を明確にし計画を立てて取り組む重要性を理解し前向きな事業所が増加したと思われる。</p> <p>②先進事業所視察 工業振興対策委員会のメンバーを中心に開催した視察であるが、大阪ガス(株)科学館、明治なるほどファクトリーで最先端技術の説明を受け、自社工場へ何かヒントを持ち帰るために非常に熱が入った視察となった。各社の歴史や取り組みについて説明を受けた後、ミュージアムを視察するなど爽り多いものを感じられた。</p> <p>③工場見学&amp;異業種交流会 (株)キャニオンスパイスの工場見学を取り入れ、食の安全、労務・衛生管理、5Sの取り組み、商品開発、地元への思いなどについて説明された後に交流会を実施、事業者同士のやり取りが活発になることが分かったので、次年度以降もこのスタイルを定着させたいと考えている。</p>	計画に対する実績(数値) ①経営セミナー	支援企業数(計画)	20社	支援企業数(実績)	12社	支援実績率	60.0%	満足度	89点	計画に対する実績(数値) ②先進事業所視察	支援企業数(計画)	10社	支援企業数(実績)	15社	支援実績率	150.0%	満足度	90点	計画に対する実績(数値) ③工場見学	支援企業数(計画)	20社	支援企業数(実績)	11社	支援実績率	55.0%	満足度	85点
計画に対する実績(数値) ①経営セミナー	支援企業数(計画)	20社	支援企業数(実績)	12社	支援実績率	60.0%	満足度	89点																				
計画に対する実績(数値) ②先進事業所視察	支援企業数(計画)	10社	支援企業数(実績)	15社	支援実績率	150.0%	満足度	90点																				
計画に対する実績(数値) ③工場見学	支援企業数(計画)	20社	支援企業数(実績)	11社	支援実績率	55.0%	満足度	85点																				

達成度	指標①	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70%	実績数値	91%	目標達成度	130.0%
	指標②	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%
	指標③	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	60%	実績数値	81%	目標達成度	135.0%
成果の代表事例	交流会をきっかけに知り合った企業間で、取引や技術的な課題等の相談が活発に行われており、5Sなどについても自社で取り組みなど前向きな事業所が増えている。今年度は、求人票作成セミナーを開催するなど人材不足の事業所にとっては、非常に好評であった。					
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業を開始して6年目。台風21号の影響もあり、計画通りに実施できないこともありました。泉南地域の事業者が集まることができる、異業種交流会当会事業はとても貴重な機会であると認識している。今年度は新しい参加者も増加し満足度も高いので、一応の成功と言える。今後は多くの方に参加いただくために情報発信の機会を増やし、さらなる市内事業者間のビジネスマッチングを推し進められるよう、事業の実施に努める。				

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業														
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しており集客力が乏しく個店が収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足度を、地域には賑わいを、取り戻すことが出来る。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を行っている事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>平成31年2月1日(金)～28日(木)にかけて得する街のゼミナール「第2回せんなんまちゼミ」を開催、31社(支援対象企業数は29社)にて47講座を開講。合計でのべ297名の受講者を集めることができた。各講座においてまちゼミ受講者(新規顧客候補)とコミュニケーションを取ることで事業主、店舗、商品のことを知っていただくことができ、まちゼミ受講者の満足度を上げることでその後の来店を促し新規顧客を創出した。まちゼミの実施に当たっては下記の通り研修会と結果検証会を開催、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。</p> <p>【まちゼミ研修会】                  講師：全国商店街支援センター よろず相談アドバイザー 矢部 久智 氏                  第1回参加店研修会 平成30年11月7日(水) 18名                  第2回参加店研修会 平成31年1月10日(木) 昼の部：19名 夜の部：7名                  せんなんまちゼミ結果検証会 平成31年3月18日(月) 16名                  ※結果検証会には、さのまちゼミ実行委員2名、泉佐野商工会議所まちゼミ担当者2名がオブザーバーとして出席、今後も連携体制を強化、情報交換しお互いに役立てることとなった。                  第3回せんなんまちゼミ開催に向けて事業者が中心となる実行委員会を組成、実行委員による協議により事業を推進していく</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた事業計画作成支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。</td> </tr> </table>							①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。	④相談相乗	まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた事業計画作成支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。
	①府施策連携															
②広域連携																
③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。															
④相談相乗	まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた事業計画作成支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。															
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	27社	支援企業数(実績)	29社	支援実績率	107.4%	満足度	79点								
事業の実績/目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>新規顧客の獲得を目的に【第2回せんなんまちゼミ】を開催し、合計297名の受講者を迎えることができ、受講者の満足度を向上させることで後の顧客候補を獲得することができた。</p> <p>参加事業所には新規顧客開拓、販路開拓に積極的な事業所が多く、まちゼミを通じて今後の事業に対する前向きな意識変化をもたらすことが出来た。また、まちゼミ研修会とまちゼミ結果検証会を開催、他の事業者とコミュニケーションを取れる場を設定することで、お互いに刺激し合い仲間意識を高めることができた。</p> <p>1.支援企業数(実績)について                  募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介                  参加企業数・・・計画段階では27事業所となっていたが、募集の結果2件増の29事業所となった。</p> <p>2.満足度について                  まちゼミ実施後のアンケートにおいて集計した満足度の平均値</p> <p>3.指標について                  まちゼミ実施後のアンケート、またはヒアリングにて販売促進・新規顧客開拓に対する意識の変化があった事業所数を計上。                  支援企業数・・・・・・・・・・【29社】                  意識変化が見られた事業所数・・【22社】</p>															

標達成度	指標	せんなんまちゼミ実施後のアンケートにおいて 販売促進・新規顧客開拓に関連する意識が向上した事業所				
	数値目標	70%	実績数値	75%	目標達成度	107.1%
成果の代表事例	洋菓子製造業・・・今回まちゼミには初参加の店舗、デコレーションケーキ作りの講座を開講し16組（30名）を集めることができた。参加者は親子が多くケーキ作り体験を通じて事業主の人柄やテクニック、こだわりなどを知っていただくとともに他所できない体験を提供することができた。参加者からは次回を要望する声もあり、デコレーションケーキだけではなくクッキーなどの焼き菓子体験の開講を検討している。楽しい体験の場を提供することで地域の人に親しみを感じて頂き、新規顧客の開拓に手応えを感じていただいている。					
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主運営への一部移行 本事業を継続的、かつ効果的に実施していくためには事業者にとって本事業を自分ごととして捉えていただくことが必要である。そのため第3回に向けて実行委員会の立ち上げを計画。 実行委員の選任、実行委員長の選任を経て実行委員会を立ち上げ、まちゼミ運営をすすめる。</li> <li>・実行委員会形式で運営の改善 実行委員会にて開催時期、広告方法など改善を加え、より効果の出るまちゼミにつなげる。</li> <li>・受講者の増加 第一回に比べて第2回は50名近くの参加者減となった。次回はチラシ内容の見直し、広告方法の検討、店舗でのチラシ配布を強化したい。</li> <li>・ゼミ内容の充実・ブラッシュアップ 今回で結果が思わしくなかったゼミ内容を見直し改善を実施。まちゼミ受講者アンケートのデータを踏まえたゼミ内容の検討で、より効果的なゼミを開催出来るよう支援を実施する。 PDCAを回し、参加店同士の情報交換、情報共有をすすめ、参加店一体となったまちゼミ運営を目指す。</li> </ul>				



泉南市商工会

事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業																																						
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の商業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」（地域で生産されたものを知って消費する）として物産展を開催することで集客力を高めることができる。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知ってもらい、販路開拓につなげることができる。																																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>平成30年10月14日（日）に、泉南市のりんくう体育館に於いて、「第6回泉南マルシェ」を開催、同イベント内「泉南まるごと物産展」に50事業所（泉南23：阪南18：熊取5：岬2：忠岡2）が出展し、泉南地域の物産を販売、PRしました。シリーズ『地産知消』として第6回目となる今回は泉南でも古くから現在にかけても盛んに栽培され、最盛期には日本国内にとどまらず海外にまで輸出をしていた『たまねぎ』にスポットを当て、たまねぎに関する様々なイベント（「たまねぎ感謝祭」「たまねぎ料理試食会」「たまねぎクイズ大会」「たまねぎスープのふるまい」「たまねぎ重さ当てゲーム」）を実施しました。当日は天候に恵まれ多くの来場者を迎えることができ、各出展事業所の販売・PRに寄与しました。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。</td> </tr> </table>							①府施策連携								②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。							③市町村連携	泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。							④相談相乗	イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。						
	①府施策連携																																							
	②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。																																						
③市町村連携	泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。																																							
④相談相乗	イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。																																							
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50社	支援企業数(実績)	50社	支援実績率	100.0%	満足度	82点																																
事業の実績／目標達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	目標の達成度	<p>泉南地域には商店街が少なく、活性化が必要であるにもかかわらず、具体的な取組みがなされていない。地域の商業者からは、町おこしの行事の開催が切望されている。そういう意味からも、今回の地域連携型「泉南まるごと物産展」事業を実施することにより、店舗が点在し商店街が少ない泉南地域の商業者の今後の店舗運営・販路開拓支援に繋がった。</p> <p>1.参加企業数（実績）について ・広域連携で実施。各商工会での計画段階から参加企業数に若干増減はあったものの最終的には泉南から23店舗、阪南から18店舗、熊取から5店舗、岬から2店舗、忠岡から2店舗。合計50店舗の出展となった。</p> <p>2.満足度について ・アンケート満足度の点数を平均した数値</p> <p>3.指標（新規顧客獲得・売上増加した事業所）について ①販売先数50件以上 ②販売金額20,000円以上 ・上記①②のどちらかに該当する事業所数： 35社</p> <p>今回は来場者大幅増（3,300名→6,000名）となった為、満足度（75%→82%）、指標（83.3%→116.7%）ともに昨年より上昇している。</p>																																						
	指標	新規顧客獲得・売上増加した事業所																																						
	数値目標	30社	実績数値	35社	目標達成度	116.7%																																		

度	成果の代表事例	飲食店舗：初めてのイベント出展だったが、来場された多くの人、まだ店舗を知らないお客様に対して店舗のPR、商品のPRを行うことができた。慣れない出展で当日のオペレーションは混乱したが、今後はオペレーションを見直しスムーズに出店できるよう支援を実施、またPOPを充実させるなど、販売促進を強化する。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	2,500名	目標値 (実績)	6,000名	目標達成度 240.0%
		<p>イベント開催当日は好天に恵まれ、過去最大の来場者（約6000名）を迎えることができた。</p> <p>Web広報に力を入れイベント情報サイトや観光サイト等、無料で活用できるサイトを積極的に活用した。さらに前回より泉南市内の幼稚園・小学校・中学校の全生徒へのチラシ配布を実施することで児童と児童の親世代への周知を強化した。その結果ファミリー層の来場が増加しイベント全体としての来場者一人あたりの消費額は増加傾向にある。また例年開催しているイベントとして地域からの認知度が向上してきており、来場者が定着してきている。今後も来場者を増やしていくために宣伝方法の改良、また来場者を飽きさせることのないイベント内容の検討、事業所の出展内容の充実等を目指したい。</p>				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>地域の物産イベントとして定着し購入意欲のある来場者が増加しており、今後は来場者の期待に応えるイベントへの成長が課題だと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある出展者、出展内容に向けた支援 →出展申込者に対し魅力ある出品に向けた支援</li> <li>モノ消費からコト消費への転換 →まちゼミ事業と連携、まちゼミ参加者からワークショップ形式での出展を募る。モノの販売から、その時その場所でしかできないコトを提供することで、イベントの魅力を強化するとともに、コミュニケーションを通じてお店のファンを創出する。</li> <li>出展事業者の販売力強化、販促力強化 →次回も引き続き希望者にはショップカード作成支援を実施、イベント出展後固定客に結びつけるよう支援を実施する。</li> <li>キャッシュレス対応の推進 →キャッシュレス対策推進事業と連携、キャッシュレス決済の導入を促進し、イベント出展時のオペレーションを改善、生産性を向上させる。</li> </ul> <p>これらを実施し、より良いイベントへとつなげていきたい。</p>				

泉南市商工会

事業名	女性活躍推進支援								
想定する実施期間	30 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>国際的に見ると、日本の大卒女性の就業率は、OECD加盟32カ国中28位であり、失業率も高水準にあり、国際競争力の観点からも改善が課題となっている。</p> <p>政府は2020年までに(1)女性就業率を77%までに引き上げること(2)指導的地位に占める女性の割合を各分野で引き上げること、を目標とし、女性の活躍を推進していくには女性の活躍推進が企業の価値向上に寄与するという共通認識を社会で醸成し働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識変化が必要と考えている。</p> <p>全国的に見ると、大阪府の女性就業率(20～59歳)は45位(下位から3番目)と低い水準にあり、要因として考えられるのは大阪府では全国に比べて、女性の離職理由に「結婚」をあげる割合が高く(全国4位)、「出産・育児」を理由とする離職についても全国平均より高いことが要因としてあげられ、結婚・出産・育児といった節目での離職理由の高さが、大阪府の既婚女性の就業率の低さに寄与していると考えられる。</p> <p>大阪府の働いていない女性の退職理由を見ると、77%が結婚・子育て・介護等の理由であり、そのうち「やむなく辞めた」は40.5%、「望んで辞めた」は36.5%である。「やむなく辞める」は正規社員より非正規社員に多くみられ、退職後の就業意識を見ると「就職を希望していないが条件を整えば就職を希望する」割合が最も高い。働いていない女性が就業のために一番必要だと考えるものは「保育所や学童保育などの施設設備」が最も高く、次いで「短時間勤務や在宅ワークなどの多様な勤務形態の普及」の割合が高いと平成25年度に実施された大阪産業経済リサーチセンターのアンケート結果から伺える。</p> <p>泉南地域においても少子高齢化に伴い労働力人口の不足が見込まれるなか、多様な人材の活躍を通じて労働力の確保につなげていくことが期待されている。グローバル競争の激化により、企業は顧客の多様なニーズを汲み取ることが必要になり、多様な人材の活躍は、新たなイノベーションの創出にも寄与影響すると考えられている。</p> <p>現状では、労働力人口の半分を占める女性においても、未だに多くの女性が仕事と家庭の両立の難しさなどを理由に離職することや、女性が勤務する職種や雇用形態の役割が限定的であることなどから、女性の能力が十分発揮できていないことを経営者や人事労務担当者が認識し、多様な人材の活躍推進の第一歩として、女性の活躍を進めることに意義があると理解し行動する小規模事業者から中堅・中小企業まで、事業規模に捉われず支援する。</p>								
支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域2市3町(泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)の事業者全般であり、女性の能力を活用することでさらなる飛躍を目指したい中堅・中小企業の経営者および管理職者を対象とする。								
実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：平成30年12月5日(水) 参加事業所数：43事業所参加(参加数：62名)</p> <p>場所：泉南市商工会館2階会議室</p> <p>【経営セミナー第1部】                  表題：働き方改革について～一億総活躍社会の実現に向けて～                  講師：平井貴子 氏(大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター)</p> <p>【経営セミナー第2部】                  表題：女性活躍推進とは～女性の活躍とその先を見つめて～                  講師：黒岡義一 氏(大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター)</p> <p>【活動報告】                  OSAKAしごとフィールドの取組について                  働き方改革推進支援の取組について</p> <p>【パネルディスカッション】                  表題：本音で語る！女性が活躍している事業所の成功事例発表                  上島珈琲貿易(株) 代表取締役 上島淳史 氏                  関空運輸(株) 常務取締役 内畑谷依玖子 氏                  (一社)フライツワ 大兵理事 中村菜津子 氏</p> <p>【異業種交流会】</p> <p>＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞</p> <table border="1" data-bbox="456 2022 1650 2305"> <tr> <td data-bbox="456 2022 555 2099">①府施策連携</td> <td data-bbox="555 2022 1650 2099">OSAKAしごとフィールドの取組について、事業内で参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 2099 555 2176">②広域連携</td> <td data-bbox="555 2099 1650 2176">連携商工会の担当者とは随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布や市への後援依頼、HP掲載など業務を分担した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 2176 555 2254">③市町村連携</td> <td data-bbox="555 2176 1650 2254">泉南市産業観光課に連絡し、参加を要請。広域連携商工会内の公的機関担当者は全て参加をいただいた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="456 2254 555 2305">④相談相乗</td> <td data-bbox="555 2254 1650 2305">セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。</td> </tr> </table>	①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの取組について、事業内で参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。	②広域連携	連携商工会の担当者とは随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布や市への後援依頼、HP掲載など業務を分担した。	③市町村連携	泉南市産業観光課に連絡し、参加を要請。広域連携商工会内の公的機関担当者は全て参加をいただいた。	④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。
①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの取組について、事業内で参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。								
②広域連携	連携商工会の担当者とは随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布や市への後援依頼、HP掲載など業務を分担した。								
③市町村連携	泉南市産業観光課に連絡し、参加を要請。広域連携商工会内の公的機関担当者は全て参加をいただいた。								
④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。								

	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40社	支援企業数(実績)	43社	支援実績率	107.5%	満足度	78点
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>泉南地域は、人材不足であり雇用確保問題が経営者を悩ませている。オール泉南で取り組むことができた今年度、多くの事業経営者が参加され、中小企業者にとって興味のある問題であり、解決したい問題であることが分かった。また、女性活躍を実施にどのように取り組んでいいのかわからない事業者も多く、パネルディスカッションの実例や異業種交流会での他社との情報交換は満足度が高い結果になっている。</p> <p>【満足度集計】  第1部「働き方改革セミナー」76%  第2部「女性活躍推進について」80%  第3部「パネルディスカッション」78%  第4部「異業種交流会」81%  泉南市商工会24社、忠岡町商工会2社、熊取町商工会8社、阪南市商工会6社  岬町商工会3社（合計43社）</p>							
	指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合							
	数値目標	70%	実績数値	88%	目標達成度	125.7%			
	成果の代表事例	平成31年度4月より始まる「働き方改革」について、中小企業者はまだまだ浸透していない。このセミナーにおいて知識を習得でき対応できることは非常に良かったと思う。女性活躍推進については、パネルディスカッションと通じて実際の経営者直面した問題や成功は、何より中小企業者にとって役立つ情報であり、異業種交流会で他社との情報交換でされなる前向きな企業経営に努力されると感じました。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業初年度ではあるが、広域連携だけではなく各商工会より自治体への後援依頼、岸和田労働基準監督署、泉佐野公共職業安定所、日本政策金融公庫泉佐野支店などの後援もあり、『オール泉南』で事業を実施できたことは非常に大きな意味を持ち、成功できた最大の要因であると考えます。次年度の開催において、異業種交流会の時間をもう少し長くし、より情報交換を活発に行っていくこと、また、好評であったパネルディスカッションにおいては、事例を2つほどにして、もう少し深堀出来るように取り組みたい。							